



# 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

## THE KOHO



7 月

Vol. 7.2013.

通巻 No. 331

第 258 号

### 巻 頭 言

#### 【理学療法が進むべき道】

去る6月15日の日本理学療法士協会小川副会長の講演ならびに6月20日の第2回沖縄タウンミーティングにおける半田会長の講演において、共通して強く指摘されたことは、理学療法士自らが理学療法の道筋を決めるために、いま、具体的な行動をしなくてはならないということであった。具体的な行動とは、理学療法士ひとりひとりが、例えば学歴や論文等により業績を蓄積したり、認定・専門理学療法士を取得したり、あるいは技術や得意分野に関連する外部の諸々の認定制度を積極的に活用するなどして、自らの付加価値を高めるよう意識する、ということであった。

認定理学療法士や専門理学療法士の取得に関してはそのメリットについて疑問視する声があるが、その価値を高めるためには、制度として内外に広く認知される必要があり、そのためにしっかりとした根拠に基づく実をつけることとその裏打ちのための政治力を持つことが必要不可欠であることが強く訴えられた。

職能団体として立法へのチャンネルを持ち続けるためには、我々自身が心を合わせ、力を合わせる必要があることは言うまでもない。理学療法と理学療法士にとっての明るい未来の実現に向けて、今、行動することが求められているということを強く感じた。

研究支援担当理事 久高将臣(くだかまさとみ)

## INDEX

巻頭言	.....P1	医療サポート事前講習会	..... P7・8
第2回タウンミーティング	..... P2・3	八重山ブロック勉強会	..... P8
平成25年度定時総会開催	..... P4	第6回言語リハビリ交流のつどい	..... p8・9
平成24年度功労賞	.....P4・5	理事会報告	..... P9・10
平成25年度定時総会(代議員)	..... P5・6	事務局便り	..... P10・11
ブロック長会議	.....P6	教育學術局便り	..... P12・13
理学療法部門所属長会議	.....P6・7	沖縄県理学療法士協会主催講習会	..... P14・15
第48回日本理学療法学会	..... P7	他団体主催講習会	..... P15・16

発行:公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 事務所

〒904-0032 沖縄県沖縄市諸見里1丁目4号22番301号 TEL&FAX:098-930-5023

URL <http://www.oki-pt.jp/> E-mail: [optaoffice@yahoo.co.jp](mailto:optaoffice@yahoo.co.jp)



# 第2回タウンミーティング開催 「いま、そしてこれから」

平成25年6月20日(木) 19時～21時 沖縄リハビリテーション福祉学院

去った6月20日に第2回タウンミーティングが沖縄リハビリテーション福祉学院にて開催されました。前回参加が叶わなかった深浦順一日本言語聴覚士協会会長をはじめ半田一登日本理学療法士協会会長、中村春基日本作業療法士協会会長を招き「いま、そしてこれから」と題し、3協会会長がそれぞれの立場と展望を熱く語って頂きました。まずは、半田会長から過去に厚労省との折衝や屈辱的なやり取りを話され、その経緯からリハビリテーション関連職種として一致団結し、統一した政策の必要性を強く話されました。またダーウインの考えを示した言葉を引用し「この世に生き残る生き物は、最も力の強いものか。そうではない。最も頭のいいものか。そうでもない。それは、変化に対応できる生き物だ」と話され、リハビリテーション専門職としての未来像を表現して頂いたと思います。中村会長は、作業療法士が患者さんと向き合う際にセラピストの価値観で抑制してはいないか、個々の能力の可能性を引き出せるように創造性を持ったセラピストを目指すべきだと話し、深浦会長からは、これから全国的に増えるであろう言語聴覚士と協会の組織力の強化、各専門分野の追求と探究が不可欠だと話されました。

日本理学療法士協会  
会長 半田一登氏

日本作業療法士協会  
会長 中村春樹氏

特に印象的な内容は、我が国の高齢社会の課題として「2025年問題」に向けた厚労省の指針に3協会がいち早く反応し、リハビリテーションが医療・介護領域を含めた社会保障制度の中で確固たる位置付けを確保し国の政策に組み込まれるよう組織を挙げて取り組まなければ将来の展望が開けないとの事でした。3協会長に引き続き山口和之日本理学療法士協会常任理事(元衆議院議員)より、「政策実現に

日本言語聴覚士協会  
会長 深浦順一氏

日本理学療法士協会  
常任理事 山口和之氏

向けて」リハビリテーションの必要性を議員連盟の発足と厚労省内の委員会答弁等で述べてきた経緯を他人事ではなく個々の問題として各々が危機感を持って取り組まなければ大きな勢力に飲み込まれてしまう事になりかねない、それを防ぐ意味でも国に対し意見や要望を直接述べる事が出来る国会議員の必要性を熱く語って頂きました。今回、平日19時の開催と台風接近という中で参加頂いたPT80名、OT26名、ST13名の皆様は改めて本講演の言葉を思い起こし、やむなく参加できなかった方には、これから我々の将来に関する課題を真摯に取り組み「誰かがやってくれるであろう。ではなく自ら行動し発言する意思」を持ってほしいと思います。

最後に第2回タウンミーティング開催に際し、企画から講師の日程調整、当日の進行を担って頂いた小川克巳日本理学療法士協会副会長に紙面をお借りして御礼を申し上げ、会場の設営ならび諸準備をして頂いた沖縄リハビリテーション福祉学院関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 会長 池城正浩

日本理学療法士協会  
副会長 小川克巳氏





熱く語る山口和之 常任理事



会場とのディスカッション



真剣な意見交換



一致団結



## 平成25年度定時総会



平成25年6月15日、浦添のてだこホール市民交流室にて沖縄理学療法士協会の定時総会が行われました。総会は参加者、委任状数が受け付け直後に過半数となり、総会が成立し、議案も滞りなく進められ、無事終了しました。質問では会員の会費未納における事業の停滞が懸念され、円滑な会費の納入が課題であることが確認されました。当協会の収入は会員からの会費が大きな割合を占め、会費未納者が多くなった場合は当協会の目的である県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業が実施できなくなります。会費納入は我々の地位や社会的立場の向上を図る上でも

非常に重要な活動の一つです。会員の皆様、ご理解の上、円滑な会費納入を宜しくお願いします。

また、今回は日本理学療法士協会副会長の小川克巳先生に「公益社団法人であるということ」というテーマで講演をして頂きました。今回、沖縄県理学療法士協会が公益社団法人に移行するにあたり、その目的や事業などに関して多くの制約がかかる事になります。しかし、理学療法士という職業柄私達の活動はもともと公益性に基づいたものが多い為、社会的信頼性の獲得や今後事業を拡大するにあたってメリットも大きいことが分かりました。近年医療業界が診療報酬の改訂等で切迫した状況下にある中で、私達の仕事環境もその多くを医療保険分野から介護保険分野へと移行していくことでした。しかし、現状は厚生省の



考案する2025年の地域包括ケアシステムの中に訪問リハが組み込んでいなかったり、有資格者の増加により就職が困難になったりと現実はかなり厳しいようです。この現状を打破する為に、私たち理学療法士は業務以外にも政治面にも目を向ける事が必要ではないかと痛感しました。今後は沖縄県理学療法士協会の会員一人一人が自分自身の職場や立場を守るための活動もしていく必要があるのかも知れません。今こそ意識の変化が必要です。一人の力は微力でも集団の力はとても強いです！会員みんなで「これから」を変えていきましょう！（事務局広報部）



総会後の懇親会

## 平成24年度沖縄県理学療法士協会 功労賞 表彰式

先日行われた定時総会の際に平成24年度公益社団法人沖縄県理学療法士協会功労賞の表彰式が執り行われました。受賞者は沖縄リハビリテーションセンター病院の仲西孝之氏と総合ウェルフェア株式会社ぴーぷる長崎の貞松徹氏の2名でした。残念ながらお二人は諸事情で参加できませんでしたが、代理授与にて行われ、その功績に大きな拍手が贈られました。

【平成24年度公益社団法人沖縄県理学療法士協会功労賞を受賞して】

**医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院 仲西孝之**



このたびは身に余る賞をいただき沖縄県理学療法士協会および会員の皆さまに厚くお礼申し上げます。私は仲間理元会長をはじめ溝田康司前会長、そして池城正浩現会長の下で10数年に渡り学術局をはじめ社会職能局の担当理事として活動に参画して参ることができました。これもひとえに歴代会長はじめ多数の理事および各部長・部員らの支えがあればこそと感謝致しております。これまでの理事活動を振り返り、特に思い出されるのは千知岩伸匡前学術局長と二人三脚で学術局の組織体制の構築にエネルギーを注いだことです。当会事業においては金沢寿久氏（大阪府在）と小嶺衛副会長に学会部長をお引き受けいただき理学療法学術大会を発展的に導いていただいたことです。次に2008～2010年に溝田前会長をはじめ岡本慎哉氏（元副会長）、貞松徹氏（前国際支援部長）、比嘉つな岐氏（現国際支援部副部長）らが中心に取り組んだ「フィジー国際理学療法士臨床技術研修」に参画できたことです。さらに2010年には「美ら島沖縄総体2010」で小嶺副会長（前ス

スポーツ推進部長)をはじめ牧門武善氏(現スポーツ事業部長)、座波信司氏(元理事・現スポーツ事業部員)らにご尽力いただき大会の運営と県勢の活躍に貢献できたことが挙げられます。紙面の都合で一部のみの紹介に留めますがこの場を借りて関係者の皆さまに感謝申し上げます。

さて、沖縄県理学療法士協会は会員数が1200名を超え社会的な知名度も上がっております。またわが国が高齢社会に進む中、我々理学療法士や沖縄県理学療法士協会への期待と役割はますます大きくなっているのを実感致しております。会員の皆さま一人ひとりがそのことを自覚し理学療法士および沖縄県理学療法士協会が社会の要請に応えられる資質と能力を備える必要があると考えます。

今回、諸事情で理事を退任致しましたが、今後も一会員として可能な限り沖縄県理学療法士協会の活動にご協力させていただき所存です。沖縄県理学療法士協会が池城会長を先頭にますます発展することを心から祈念申し上げます。

#### 総合ウェルフェア株式会社 ぴーぷる長崎 貞松徹



ワーキングホリデービザを取得し26歳で海外へと飛び出した事をきっかけとして、帰国後、様々な海外プロジェクトを経験させて頂きました。フィジー国理学療法士臨床研修をはじめとして、コロンビアとは障害者の総合リハビリテーションと社会参加プロジェクト、中国、台湾、ロシアとは医療ツーリズム(万国医療津梁)のプロジェクトに参画させて頂きました。それまでの理学療法士としての臨床業務とは異なる全く新しい職務に戸惑いあり、多くの苦勞あり、引き受けた事を後悔する日もありましたが、振り返ってみるとどれも貴重な経験、挑戦であり、今では財産となっています。

池城会長、溝田前会長、仲西局長、比嘉国際支援部副部長、岡本先生、喜屋武先生をはじめ多くの会員の方々に支えて頂きました。また、所属していた沖縄リハビリテーションセンター病院、ちゅうざん病院のスタッフの皆様にはプロジェクト参画への理解と協力、また時には海外研修員への講師として多くの負担を請け負って頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

育ててもらった沖縄に、理事の皆様、またOPTA会員の皆様は何ら恩返しのできないまま長崎へ戻ることとなりしまい申し訳ないと思っていました折、さらにこのような素晴らしい賞を頂き大変恐縮しております。

現在は出身地、長崎の街でこれまでの経験をベースとしてまた新たな挑戦をしております。OPTAの結束力と勢いに負けないよう、頑張っ参ります。

貴会の皆様のご健康を祝し、未来に向けてますますのご発展をお祈りいたします。

## 第42回定時総会(日本理学療法士協会)



報告者 代議員(沖縄県選出) 山城 幸信  
年1回の定時総会が平成25年6月8日に東京の「ベルサール半蔵門」にて開催された。

公益社団法人日本理学療法士協会の総会は定款第14条に基づき代議員(社員)によって開催されることになっている。代議員定数279名で沖縄県代表は5名(池城正浩、小嶺衛、神谷之美、城間定治、山城幸信)。

総会の前に平成24年度に亡くなった24名の会員へ黙とうがさげられた。

議事の前に第31回協会賞が協会及び理学療法の発展に顕著な功績のあった7名の功労者へ半田一登会長から表彰された。総会は代議員と執行部の活発な質疑応答があり充実したものであった。式次第にそって第1号議案名誉会員の承認、第2号議案定款改正案の承認、第3号議案定款細則改正案の承認、第4号議案平成25・26年度の役員選定を求める件では、去った2月に行われた選挙結果上位23名の理事、3名の監事の承認、この中から会長に半田一登氏の再選、副会長は今年度から3名体制とする案が承認された。

第5号議案は平成24年度事業報告、決算報告が承認された。特に訪問リハビリステーションの設立は平成22年までは平成24年改定による実現が確実視されていたが、急に難しくなった背景には様々な要因があったが、厚労省より経営に対する不安定さ等が指摘された。はじめて本会が叙勲推薦団体として認められ、第1号として中屋前会長の旭日小綬章が決まった。特別支援学校への理学療法士の配置が平成25年度に試行事業として予算化された。平成25年度から組織改定が行われことになりキーワードである「闘える組織」1.「戦える組織」⇒「能動的組織作り」⇒「高度機能化」・「専門化」2.「協会一士会連携」3.「事務分掌の抜本的改定」4.「日本理学療法士学会」の自律化⇒社会発信力強化5. 研修



機能の一元化⇒「生涯学習機構」の創設。協会の基本機能(=公益社団・職能団体・学術団体=会員の利益)これらの説明を行い承認された。

平成25年度事業計画では、平成37年を到達年度としている地域包括ケアシステムへの本会としての対応が重要である。それをターゲット年とし、長期的な視野での協会活動を構築する必要があり、平成25年度をそのスタート年とし①会員の資質向上に関する事、②職域の維持・拡大に関する事項、③組織運営の強化に関する事項、特別委員会を設置して様々な展開をすることとした。また、職能団体としての職域の維持拡大には政治的活動が必要である。会員である山口和之氏が4年前の衆議院議員選挙において当選し、理学療法士から念願の国会議員が誕生し多くの実績を上げてきた。現在は当会員の国会議員の議席はなく、7月の参議院選挙では、ぜひ理学療法士の中から国会議員を誕生させなければなりません。半田会長は理学療法士の将来展望のためには、ここ数年の対応が最重要であると訴えた。総会参加者245名(定数279名)

## ブロック長会議開催



平成25年6月19日、平成25年度第1回ブロック長会議が開催されました。台風4号の接近で開催が危ぶまれるなかで各ブロックのブロック長と担当理事が集いました。会議ではブロック毎の会員動向や事業報告および予定の報告がありました。昨年度から北部・宮古・八重山ブロックでは活動が活発になり、役員分担などの組織化を進めています。逆に会員の多い中部・南部ブロックでは組織の細分化を進めていく方針が打ち出されました。このように各々のブロックの特徴を活かしな

がら活動が活性化してきています。

会議終了後はワインを片手に情報交換をし、親睦を深めました。ブロック長の皆さんは理学療法士として、会員として、ブロック長としてのステイタスを高くお持ちで遅い時間まで熱く語り合いました。(事務局 城間定治)

[参加者] 池城正浩(会長)、小嶺衛(副会長)、神谷之美(副会長)、古堅貞則(教育学術局長)、久高将臣(研究支援担当理事)、城間定治(事務局長・南部ブロック長)、立津統(地域・厚生担当理事・中部ブロック長)、目島直人(北部ブロック長)、本間昌大(八重山ブロック長)、砂川真利香(宮古ブロック長)



## 理学療法部門所属長会議

6月の初め、北部・中部・南部ブロックで理学療法部門所属長会議が開催されました。会議では所属長だけでなく多くの会員が参加され、活発な意見交換が行われました。年度内に次の開催も計画されていますので会員の皆様の参加をお待ちしています。(事務局 ブロック担当部)

### 【ブロック会議開催概要】

北部ブロック:平成25年6月11日(火) 中部ブロック:平成25年6月1日(土)

南部ブロック:平成25年6月6日(木)

### 【会議内容】

#### 1. 平成25年度 ブロック会議の開催・今後の計画について

○会長池城より、1200名余の会員数による会の組織率の低迷が懸念され、これからの会の存続に向けて危機感を感じている。特に総会や協会主催のイベント等や講習会、勉強会への参加率低迷に加え、一部の施設または、一個人での参加が目立っている。それらを解決するためにも会員が抱えている課題等を集約し、要望や意見を吸い上げ、協会全体の団結力を高めるための試みとして本年度事業として組み入れられた経緯の説明。

○後進のためにも組織力を上げる必要性と、各々の理学療法部門の責任の大きさを実感し、さらに当理学療法士協会への積極的な意見や協力について取り組んでほしいとの要望を哀願した。

#### 2. 調査部への依頼協力について

○他団体から依頼を受けるも、十分には人員の派遣協力などが行っていない。学術および将来の有能な人材を育てていく必要性と、現在の会員の発掘を行う目的で調査を行う趣旨説明と協力を求めた。

### 3. その他

○病院単位で抱えている問題、例えば監査での解釈、新人教育についての方法、学生指導や学生数の把握、隣の病院間との交流がない、などを解決するための方法を組織として取り組んでいくためにメールや、今回のような会議において議題提出して検討する事が必要と話し合った。



北部地区医師会病院



翔南病院



豊見城中央病院

## 第48回日本理学療法学会

## 会員活動紹介

平成25年5月24日から26日まで名古屋国際会議場にて第48回日本理学療法学会が開催されました。大会は各領域で3つのブロックに分けて行われ、一般演題では活発な討論がなされていました。シンポジウムでは今大会のテーマである「グローバル・スタンダード」に沿って、エビデンスを臨床にどう生かすのか？や、日本理学療法士協会が示している理学療法診療ガイドライン第1版の活用についてなどが話し合われていました。今後の理学療法の発展のためには、臨床で活躍するPTが自らエビデンスを作っていくように努力していくことが必要だと感じました。今学会では沖縄県から6演題の発表がありました。昨年の学会では3演題の発表であり、今後も沖縄県からの発表が増加していくことを期待したいと思います。(取材:広報部 平勝也)

### 【沖縄県からの発表】

村井直人(ちゅうざん病院) 上間伸浩(北山病院) 上間伸浩(北山病院)

比嘉俊文(沖縄リハビリテーションセンター病院) 高宮城あずさ(沖縄リハビリテーションセンター病院)

照屋修平(沖縄リハビリテーションセンター病院) 平勝也(沖縄リハビリテーションセンター病院)



## 医療サポート事前講習会 & 打ち合わせ

## 会員活動紹介



社会職能局スポーツ事業部

沖縄リハビリテーションセンター病院 高江洲 昌太

去る6月7日(金)、医療サポート事前講習会とその打ち合わせが大浜第二病院で行なわれました。参加者は39名で多くの参加があり、講義内容としてはスポーツ現場での応急処置の基本的考え方の講義、心臓マッサージの実技が行われ、次に浦添総合病院の米須清倫先生が医療サポートの内容についての説明がありました。

来る第95回全国高等学校野球選手権記念沖縄大会に向けて、医療サポート時の応急処置の対応方法を深めることができ、今後もより充実したサポートを提供していく必要性を感じました。



## ロクト整形j2 吉村光司

勉強会ではRICE等の基本的な処置から、心臓マッサージの実技など幅広く学ぶことができ、実際の現場で役立つものばかりで、とても参考になる内容でした。私たちは実際の高校野球の試合でメディカルサポートを行なったことはありませんが、今回の勉強会に参加したことで、より一層、高校野球に携わりたい気持ちが強くなりました。

## ちゅうざん病院 佐藤圭祐

今回、スポーツ事業部事前講習会に参加し、スポーツの分野で活躍される先生方の実技を踏まえた講義は経験者だけでなく未経験者である私にとっても興味が湧くものであると実感しました。以前からスポーツの分野に興味はあったものの勉強の始め方がわからなかった私にとってとても有意義な時間となりました。

講習会を通して、理解を深めることができ、改めてセラピストの専門性を再認識することができ、ほんの数時間の講義でしたが、大変実りのある講習会でした。



## <第95回全国高校野球選手権沖縄県大会医療サポート サポーター募集中>

6月22日～7月21日（土日祝日対応予定）

問い合わせ・申込み先：浦添総合病院 098-878-0231 リハビリテーション部 米須 清倫

## 八重山ブロック勉強会

## 会員活動紹介



八重山ブロック広報担当 星野宗勳(いしがき太陽の里)

2013年5月20日に八重山ブロック勉強会をかりゆし病院にて開催致しました。今回は私、いしがき太陽の里の星野が「空間認知について」というテーマで話をさせて頂きました。空間とは何か、人はどのように自らの空間を造り出しているのか、ということをおインシュタイン博士の相対性理論を絡めながら話し、最後に実際の臨床の場でどのように我々が空間を捉え、介入できるかについて意見交換させて頂きました。

[受講者の声]

今回、「空間認知について」というテーマの勉強会に参加しました。

講義内容は、空間とはから始まり、身体と空間認知の関係についてのものでした。この中で、人は両側身体からの情報の統合なくしては、空間の認識、獲得は困難であるとありました。私たちが多く関わっている、片麻痺の方は高次脳機能障害がほとんどない方でも、片側が麻痺していると言う事だけで両側からの情報が欠けている状況にあります。私たちは理学療法を行う上で、この様に不安定な状態にある患者様に対して、如何にして安定した状態にするか、またはどの様にすれば、患者様が安心して身体を動かせるか？等の環境設定がとても重要だということを感じました。今回、勉強会のために準備してくださった太陽の里リハビリテーション科の星野PTありがとうございました。

(かりゆし病院 小松 千紗)

## 第6回言語リハビリ交流のつどいinおきなわ

## 会員活動紹介

NPO法人失語症デイ振興会主催「第6回言語リハビリ交流のつどいinおきなわ」が6月9日（日）に沖縄コンベンションセンター会議棟で開催されました。当協会も後援及び実行委員会の構成団体として参加し、当日と前日の懇親会には総勢37名のサポーターが大会を支援しました。大会は多くの参加者で盛り上がり、サポーターも当事者団体の大会に直接参加でき、よい経験になったのではないかと思います。



## 北中城若松病院 理学療法士 大城朋己

今回、私は初めて言語リハビリ交流のつどいという、全国各地から失語症者を招き地域交流を行う大きなイベントのボランティアとして参加させて頂きました。参加した事で、失語症者の体験談や各地域での活動内容など貴重な話を聞く事が出来ました。また、ボランティアの方々は、PT、OT、STが多く参加しており、様々な職種の方々と交流する事が出来ました。今回、ボランティアに参加させて頂いた事





水分補給係りで活躍

で何事にも挑戦する事が大切という話や各地域の病院の連携など情報交換をする事ができ、私自身多くの事を学べました。今回は失語症のイベントでしたが、地域には様々な後遺症を患っている方が多くいると思います。その方々を元気づける為にも多くのイベントに参加し色々なジャンルのボランティア活動をしていきたいと思っています。

**宜野湾記念病院 理学療法士 金城 理花**

理学療法士になって始めて、大きなイベントのサポーターを務めてきました。全国様々な地域から多くの参加者を招き、とても大きな会でした。

今まで失語症者と関わることがほとんどなく、初めはどう声をかけたらいいいのか、対応に困ることもありました。しかし、目を見てジェスチャーを加え、声をかけることで、相手に思いが伝わり、コミュニケーションを取ることができました。今回、このような貴重な体験ができたことは、私にとって大きな経験となりました。今後PTとして現場で生かしていきたいと思っています。また、これからもいろいろなイベントに積極的に参加し、じぶん磨きをしていきたいと思っています。



会場全体で体操



サポートメンバー

## 理事会報告

本誌頁数増加に伴い、理事会議事録を今月号から理事会報告とします。詳細については今後、ホームページに掲載する予定ですのしばらくお待ちください。それまでの期間は事務局までお問合せください。

**【平成25年度第3回 理事会】**

日 時:平成25年6月12日(水) 19:00~22:00

場 所:翔南病院 会議室 (〒904-0034沖縄県沖縄市山内3-14-28)

**【審議事項】**

第1号議案 入会の承認に関する件(事務局)

議案内容	【入会申請者】 申請用紙からの申請…1件 ②HPからの申請…40件 計41件	
	【会員動向】平成25年6月12日現在 会員数：1272名 施設所属会員数：1170名 自宅会員数102名 会員所属施設数：228施設	
審議結果	【期間会員動向】平成25年5月9日～6月12日 異動：24名(県内：16名 他都道府県→県内：2名 県内→他都道府県1名) 休会：0名 退会：0名 復会：0名	
	①全会一致で承認。 担当局：事務局	担当部：総務部

第2号議案 健康づくり支援事業推進委員会委員の推薦並びに委嘱について(事務局)

議案内容	沖縄県老人クラブ連合会より、健康づくり支援事業推進委員会委員の推薦並びに委嘱の依頼が届いています。推薦者の選出を宜しくお願い致します。	
審議結果	①推薦について全会一致で承認。 ②玉城義彦理事を選任（追加人選については継続検討）。	
	担当局：事務局	担当部：総務部

第3号議案 三幸福社カレッジへの講師紹介について(事務局)

議案内容	三幸福社カレッジより、講師紹介の依頼が届いています。ご検討をよろしくお願い申し上げます。	
審議結果	①紹介について全会一致で承認 ②南部地区：副会長神谷之美に人員選出を一任。 中部地区：会長池城正浩に人員選出を一任。→人選後、事務局まで報告。	
	担当局：事務局	担当部：総務部

第4号議案 新人教育プログラムの選択研修C-7(士会活動・社会貢献)単位付与項目について  
(教育学術局 生涯学習部)

議案内容	上記のC-7（士会活動・社会貢献）の単位付与については士会の裁量に委ねるとうたわれております。本会が主催する公益事業は、県より公益認定を受けており、その目的及び内容は、生涯学習システムの基本理念、新人教育プログラムの目標を網羅するものと解釈されます。そこで、本会が主催する公益事業活動に参加した場合、C-7の単位付与を容認したいと考えております。この見解について審議いただきたい。 【資料：生涯学習システム・ガイドライン】 【備考】 JPTAの新人教育プログラム運用手引きに関する質問回答より抜粋 ◎士会活動・社会貢献は士会の裁量に委ねますが、新人教育の趣旨より外れるような運用は慎んで頂くようお願い致します。 ◎社会的、新人教育として観点より妥当な内容で運用をお願い致します。他のテーマと同様に3日前までに研修内容登録も合わせてお願い致します。 ◎士会の認める活動は、災害ボランティアや各種スポーツ大会へのサポート参加などを想定しておりますが、単位取得に関わる内容が新人教育の一環である事をご理解の上で活動を認めて頂くようお願い致します。	
審議結果	全会一致で承認。単位付与は理学療法フェア、県民健康フェア、各ブロックで行われる健康フェア事業とする。内容を広報誌へ掲載する。	
	担当局：教育学術局	担当部：生涯学習部

第5号議案 平成25年度北部・中部・南部ブロック新人研修会について(教育学術局 教育部)

議案内容	平成25年度北部・中部・南部ブロック新人研修会事業内容について審議いただきたい。	
審議結果	事業計画書に基づき全会一致で承認。	
	担当局：教育学術局	担当部：教育部

第6回 言語リハビリ交流のつどい サポータースタッフ派遣報告

第4回 訪問リハビリテーション地域リーダー会議参加報

## 事務局便り

■■要注意■■異動申請 お手続きをお願いします！

新年度に伴い異動なさる会員も多くなります。勤務先、自宅、氏名など会員情報が変更になった際は、速やかに会員情報の変更申請をお願いします。お手続きは「マイページ」から、お早めをお願いいたします。

会費納入について

※楽天カードへ入会していないと会費の引き落としができません。楽天カードの申込みを再度ご確認ください。

楽天カードによるクレジット決済か口座振替となっております。日本理学療法士協会より送付されるコンビニ振込用紙:会費未納者に対して送付されています。使用期限にご注意下さい。

会費に関する問合せ

沖縄県理学療法士協会財務担当理事:運天智子E-mail:[optazaimu@gmail.com](mailto:optazaimu@gmail.com)



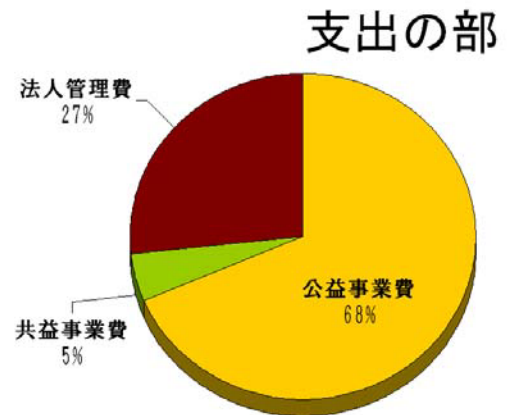
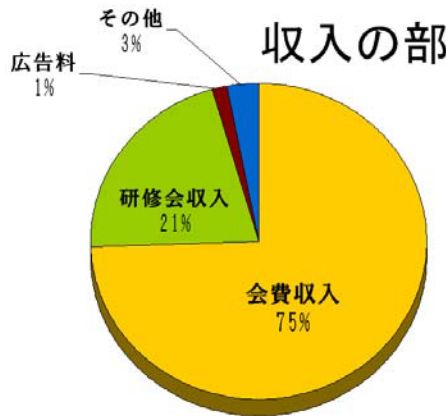
# 決算報告

平成24年度決算報告が先日の定時総会で承認されました。当協会の収入の約75%が会費収入となっており、大きな財源となっています。一方、支出としては約68%が公益事業、約27%が法人管理費となっており、皆様の会費(¥7,000)の大部分が県民の医療・保健・福祉の増進に役立っています。もちろん、当協会の活動に積極的な参加も大切ですが、会員の責務である会費の納入によって当協会の事業に寄与することも重要です。収め忘れのないようにご確認を宜しくお願いします。

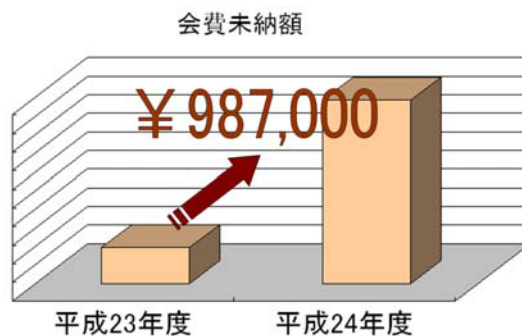
ちなみに平成24年度会費未納額は¥987,000(141名未納)です。事業執行に制限がかかるケースが出てきています。理学療法部門責任者の方はスタッフ(会員)へのお声かけを宜しくお願いします。

★会費納入が確認できない場合、協会主催の研修会申込が制限されます。

収入の部	会費収入	8,561,000
	研修会収入	2,424,500
	広告料	168,000
	その他	348,960
支出の部	公益事業費	8,125,468
	共益事業費	548,451
	法人管理費	3,167,622



会費未納額(¥)	
平成23年度	196,000
平成24年度	987,000



## ⚠️ 会員手続き方法がWEBのみになります。

### 【紙申請廃止への経緯】

協会のシステム整備によって、各種申請がWEBから実施できるようになりました。業務の軽減・迅速化、経費の削減のため、紙申請が廃止となります。

【廃止される紙申請の内訳】 入会申請、異動申請、休会申請、退会申請、復会申請

【紙申請廃止日】 平成25年12月末日

### 【廃止日以降の対応について】

廃止日(平成25年12月)以降、webの環境がないなど、紙面申請しかできない会員の対応については、日本理学療法士協会事務局へご連絡いただき、協会から用紙を個別にお送りします。

## 沖縄県理学療法士協会スケジュール 2013年7月・8月・9月

### 7月

- 6日(土) 九州ブロック役員研修会(福岡県)
- 10日(水) 平成25年度第4回理事会
- 13・14日(土・日) 北部・中部ブロック新人教育プログラム研修会
- 13日(土) 九州ブロック臨時士会長会議(佐賀県)
- 13・14日(土・日) 第20回日本義肢装具士協会学術大会
- 19日(金) 広報誌原稿締め切り
- 20日(土) 理学療法フェア2013(イオン名護店)
- 27・28日(土・日) 中部・北部ブロック新人教育プログラム研修会

※新人教育プログラム研修会詳細は「教育学術局便り」(下記)を参照して下さい。

## 8 月

11日(日)	ブロック合同新人教育プログラム研修会
14日(水)	平成25年度第5回理事会
19日(月)	広報誌原稿締め切り
25日(日)	県民健康フェア

## 9 月

11日(水)	平成25年度第6回理事会
19日(木)	広報誌原稿締め切り

# 教育学術局便り

## 新人教育プログラム研修会について

「ここだけの話ですが、リニューアルした新人研修会いろいろと勉強になるらしいですよ！」

日本理学療法士協会では、養成校を卒業された皆様のさらなる学術向上を目指し、卒業後の生涯学習として「新人教育プログラム」が実施されています。所属地域ごとに開催される新人研修会ですが、沖縄県理学療法士協会では、いよいよ7月から始まります。よし、勉強してみるか！そうだ、新プロ修了してなかった！まずは、いっしょに行こう、行こう！という方々の申込みお待ちしております。

### ■平成25年度新人研修会日程の知らせ■

#### 【北部・中部ブロック 新人研修会(選択研修)】

日 程	平成25年7月13日(土) 受付13:00～ 14日(日) 受付9:00～
場 所	琉球リハビリテーション学院
内 容	[13日(土)] 13:30 オリエンテーション 14:00 D-1 社会の中の理学療法 15:10 B-1 一次救命処置と基本処置 16:20 B-2 クリニカルリーズニング [14日(日)] 09:30 D-2 生涯学習と理学療法の専門領域 10:40 B-3 統計方法論

#### 【南部・中部ブロック 新人研修会(選択研修)】

日 程	平成25年7月27日(土) 受付13:00～ 28日(日) 受付9:00～
場 所	沖縄リハビリテーション福祉学院(合同教室 2号館)
内 容	[27日(土)] 13:30 オリエンテーション 14:00 D-1 社会の中の理学療法 15:10 B-1 一次救命処置と基本処置 16:20 D-3 理学療法の研究方法論 [28日(日)] 09:30 B-3 統計方法論10:40 B-4 症例報告・発表の仕方

#### 【ブロック合同 新人研修会(必須初期研修)】

日 程	平成25年8月11日(日) 受付8:40～
場 所	嘉手納中央公民館
内 容	09:10 オリエンテーション 09:40 A-1 理学療法と倫理 10:50 A-2 協会組織と生涯学習システム 12:00 休憩 13:00 A-3 リスクマネジメント 14:10 A-4 人間関係及び接遇 15:20 A-5 理学療法における関連法規



【宮古・八重山ブロック 新人研修会】

・7月に必須初期研修、8月に選択研修の開催で調整中！

■ ■ 新人研修会に関する説明事項 ■ ■

1. 新人研修会は、新人教育プログラム未修了の会員が対象です。
2. すべての新人研修会へ参加することができます。確認のため付け加えておきますが、会員が所属しているブロックで参加者を限定しておりません。受講費は、1講座(テーマ)500円です。
3. 新人研修会に参加される場合、「会員証」をお持ちいただくと余計な手続きがありません。まさか！とは思いますが、申し上げておきます。楽天カードではありませんので、ご注意ください！
4. 新人研修会へ参加される方は、申し込みが必要です。下記に沿ってメールでお申込みください。

【E-Mailアドレス】 optashinpro@gmail.com

【件 名】 「〇〇ブロック(ブロック合同) 新人研修会」

【記 入 事 項】 ①会員番号、②氏名、③所属名、④連絡先PCアドレス

※④携帯アドレスは、個人設定により受信されない場合がありますので、ご遠慮ください。



5. 新人教育プログラムに関するお問い合わせは、沖縄県理学療法士協会のホームページ「問い合わせ書(会員)」に表題「新人教育プログラムについて」をつけてお問い合わせください。後日ご返答いたします。

■ ■ 新人教育プログラム研修テーマと履修要件 ■ ■

1. 必須初期研修は、すべて受講し5単位取得することが要件です。
2. 選択研修は、修了要件を満たすよう選択して受講し、10単位を取得することが要件です。
3. 講座名「理学療法の臨床(C-1～C-7)」や「理学療法における人材育成(E-1～E-2)」のテーマは、「本会が開催する講習会」や「本会が認める事業」などへの参加を讀替えて履修する取り扱いとなります。残念ながら、新人研修会では履修できませんので、5の講習会等へご参加ください。
4. 「理学療法フェア」、「県民健康フェア」、「各ブロック健康関連事業」への参加は、講座名「理学療法の臨床(C-7)」の履修が認められることになりました。
5. 「読替え履修」に該当する講習会・研究会などのお知らせは、適宜、お知らせ内に読替え講座や単位を記載し、会誌、協会ホームページ、FAX等でお知らせします！

【新人教育プログラムテーマ一覧】

講座名		テーマ		単位	要件
必須	必須初期研修	A-1	理学療法と倫理	1	5単位
		A-2	協会組織と生涯教育システム	1	
		A-3	リスクマネジメント	1	
		A-4	人間関係及び接遇	1	
		A-5	理学療法における関連法規	1	
選択	理学療法の基礎	B-1	一次救命処置と基本処置	1	3単位
		B-2	クリニカルリーズニング	1	
		B-3	統計方法論 ※1	1	
		B-4	症例報告・発表の仕方 ※1	1	
	理学療法の臨床	C-1	神経系疾患の理学療法	1	4単位
		C-2	運動器疾患の理学療法	1	
		C-3	内部障害の理学療法	1	
		C-4	高齢者の理学療法	1	
		C-5	地域リハビリテーション	1	
		C-6	症例発表	3	
		C-7	士会活動・社会貢献	1	
	理学療法の専門性	D-1	社会の中の理学療法	1	2単位
		D-2	生涯学習と理学療法の専門領域	1	
		D-3	理学療法の研究方法論	1	
理学療法における人材育成	E-1	臨床実習指導方法論	1	1単位	
	E-2	ティーチングとコーチング	1		
	E-3	世界の理学療法	1		
新人教育プログラム修了要件単位数				15単位	

※1 平成24年度以降の入会者で、学士・高度専門士を取得している方は免除となります。

# 沖縄県理学療法士協会 主催 研修・講習会

## 沖縄県理学療法士会 訪問リハビリテーション推進部 勉強会のお知らせ

今回、下記の日程で勉強会を開催いたします。参加を希望される方は下記の方法で申し込み頂きますようご案内申し上げます。

テーマ:認知症の利用者様を支えるご家族への支援～訪問リハビリでできること・私達の課題～

日時:平成25年7月24日(水) 19時00分～21時00分

場所:ファミリークリニックきたなかぐすく 2階 通所リハ室 沖縄県北中城村字仲順231-1 対象:在宅でのリハビリに実務している方・興味のある方・ケアマネ・訪看・ヘルパーさんなど

参加費:無料 \*理学療法士で県士会費未納の方については500円徴収します。

作業療法士会地域連携リハ研究会・沖縄県言語聴覚士訪問リハ委員会と共同開催します

今回の勉強会は「認知症の利用者様を支えるご家族への支援」と題して勉強会を開催します。内容としては認知症を患う利用者様を在宅で支えるご家族の状況に詳しいPSW(精神科ソーシャルワーク)の方を講師に招き、講義と参加者からの質疑応答、意見交換、情報交換などを予定しています。

訪問リハビリに限らず、在宅生活の支援に関わる皆様との情報の共有も目的としております。会場でお会いできる事を楽しみにしています。今回の勉強会も盛り上がりそうですよ。

【申し込み方法と問い合わせ先】下記の内容を記載の上、メールにてお申し込み下さい

①氏名 ②所属と事業所の所在市町村 ③職種 ④県士会 会員・非会員(理学療法士のみ記載)

メールでの申し込み・問い合わせ houmonreha58@gmail.com

申し込み〆切:当日13時まで(資料・会場準備のため)

訪問リハ推進部 部長 桑江睦子(大道中央病院 訪問リハビリテーション)

## 沖縄県理学療法士協会 スポーツ事業部 講習会のご案内

【テーマ】沖縄県秋季高校野球大会 医療サポート事前講習会

【内容】夏季大会サポートを終えての事例報告・検討会

秋季大会サポートに向けての応急処置、ストレッチ、テーピングなどの実技講習

【日時】平成25年8月23日(金) 19:00 ~ 21:00

【場所】現在、調整中 【対象】沖縄県理学療法士協会会員 【会費】無料 【定員】30名

【申込み及び問い合わせ先】

E-mailで下記の宛て先に件名「スポーツ事業部 講習会申し込み」とし、本文中に①氏名、②所属、③携帯番号、④高校野球サポート希望:あり・なし、⑤高校野球サポート経験:あり・なし を入力の上、お送り下さい。

宛て先:[okinawa2010ih@yahoo.co.jp](mailto:okinawa2010ih@yahoo.co.jp) スポーツ事業部 楠木 力(沖縄リハセンター病院)

\* 締め切り8月16日(金)

秋季大会サポートの参加受付も行いますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

サポートに興味はあるが、不安な方は是非参加してみてください。

## PT・OT・ST 3協会 主催『訪問リハビリテーション管理者養成研修会』平成25年度 開催日程のご案内

※旧:訪問リハビリテーション管理者研修会 → 新:訪問リハビリテーション管理者養成研修会へ名称変更

各協会員が訪問リハビリテーションを提供する事業所の管理者として必要な、地域に望まれる事業所の遂行能力と高いコンプライアンスの実践能力、また不測の事態にも的確に対応できるリスク管理能力、そしてより広角的視座に立った運営能力等を身につけることを目的として、「訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP 1～3」を開催致します。

【主催】「日本理学療法士協会」・「日本作業療法士協会」・「日本言語聴覚士協会」3協会

### ★STEP1 開催日程

第10回訪問リハビリテーション管理者養成研修会STEP1～東京会場～平成25年7月13日(土)～7月15日(月・祝)

会場:日本青年館ホテル 3階 国際ホール(東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号)

…平成25年5月13日(月) 正午＝お昼12時より受付開始

第11回訪問リハビリテーション管理者養成研修会STEP1～大阪会場～平成25年9月14日(土)～9月16日(月・祝)

会場:CIVI北梅田研修センター5階ホール(大阪市北区芝田2丁目7番18号 オーエックス梅田ビル新館5階)

…平成25年7月16日(火) 正午＝お昼12時より受付開始

### ★STEP2 開催日程

第7回訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP2～東京会場～平成25年11月2日(土)～11月4日(月・祝)

会場:社団法人 日本交通協会 大会議室(東京都千代田区丸の内三丁目4番1号 新国際ビル9階)

…平成25年9月2日(月) 正午＝お昼12時より受付開始 ※STEP1 修了者を対象



### ★STEP3 開催日程

第5回訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP3～東京会場～平成26年1月17日(金)～1月19日(日)

会場:社団法人 日本交通協会 大会議室(東京都千代田区丸の内三丁目4番1号新国際ビル9階)

…平成25年11月18日(月) 正午＝お昼12時 より受付開始 ※ STEP2 修了者を対象

### ★フォローアップ(仮名称) 開催日程

第2回訪問リハビリテーション管理者フォローアップ(仮名称)研修会～東京会場～平成26年2月15日(土)

会場:社団法人 日本交通協会 大会議室(東京都千代田区丸の内三丁目4番1号新国際ビル9階)

…平成25年12月16日(月) 正午＝お昼12時 より受付開始 ※ STEP3 修了者を対象

【お申し込み】受付開始日時以降からお申し込みをお受け致します

事務局代行 合同会社gene(ジーン) ホームページよりお申し込みください

(www.gene-llc.jp もしくは合同会社gene で検索)

入力フォーム(<https://fs222.formasp.jp/d627/form2/>)又はQRコード・合同会社geneホームページ([www.gene-llc.jp](http://www.gene-llc.jp))からお申し込み可能

【受講料】STEP1～3 各 20,000 円、フォローアップ 10,000円(事前振込によるお支払いが必要)

※希望者は懇親会費(5,000円)及び、昼食お弁当代(各日1,000円)が別途必要になります

【詳細内容】各研修会の詳細内容が決定次第、各協会及び合同会社geneホームページにて掲示いたします

【事務局】一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会

〒273-0125 千葉県鎌ケ谷市初富本町1-2-6-803号 TEL / FAX : 047-444-3966

【お問い合わせ】事務局代行 合同会社gene(ジーン)担当:岡本 義之

〒462-0059 名古屋市北区駒止町二丁目52番地 リベルテ黒川 1階 A号室

HP : [www.gene-llc.jp](http://www.gene-llc.jp) E-mail [oka@gene-llc.jp](mailto:oka@gene-llc.jp) TEL : 052-911-2800 FAX : 052-911-2803

※上記研修会に関するお問い合わせは、合同会社gene が一括して受け付けております

## 他団体主催 研修・講習会

### 複合的腰痛アプローチ法 ILPT インフォメーションセミナー

これだけ医療が進歩しても、腰痛の患者数は増え続けています！！

今、これだけは知っておきたい、腰痛の捉え方と改善方法をお伝えします。

日時:2013年10月14日(月・祝) 受付開始 9:30 10:00～16:00 場所:沖縄船員会館 第一会議室

内容(テーマ):腰痛総論①保存的治療の最新の動向,②自己管理できる腰痛?しうる腰痛?の判断

腰痛の保存的治療システムの紹介、受講生を対象とした治療デモンストレーション、実技

講師:赤羽秀徳(理学療法士、博士(工学)、国際マッケンジー協会認定療法士、お茶の水整形外科機能リハビリテーションクリニック、(社)JIR協会認定アドバンスインストラクター)

参加費:11,900円 定員:30名 対象者:PT、OT、ST、医師

申込方法:IRA研究会HPから([IRA リハビリ]で検索) あるいは、

下記のメールアドレスに、①氏名(ふりがな) ②所属施設 ③職種 ④経験年数 ⑤当日連絡が取れる携帯番号を明記の上、件名に「ILPTインフォメーションセミナー申し込み」と明記をお願い致します。参加の可否をメールにて一週間以内に返信致します。

携帯電話よりお申し込みされる方は必ずドメイン指定の解除をお願い致します。電話、FAXでの対応はしておりませんので、下記メールアドレス宛にお申し込み、ご質問をお願い致します。(なお、振り込み確認の連絡、一週間前の連絡は講師赤羽より直接メールにて、ご連絡させていただきます。)

申込締切:2013年9月30日(月) 主催:一般社団法人JIR協会

申し込み先: E-MAIL: [kaiteki-life@hotmail.co.jp](mailto:kaiteki-life@hotmail.co.jp)

(ILPTセミナー事務局) オフィス環境改善コンサルタント(理学療法士) 山内 義崇

〒900-0012 沖縄県那覇市泊2-1-18 T&C泊ビル 4F KEEPFRONT内

### 第20回日本義肢装具士協会学術大会のご案内

#### 1. 開催日程

会期:2013年7月13日(土)～14日(日) 会場:沖縄コンベンションセンター

大会長:砂田 和幸(有限会社 砂田義肢製作所)

趣旨:今大会はテーマに「温故知新」を掲げ、日本の義肢装具を今一度振り返りつつ、最新の技術を習得できる大会にしたいと考えております。この20年で義肢装具士養成校も倍増し、有資格者は4000名を超えております。大会テーマのもと、講演におきましては、過去の義肢装具や最新の義肢装具パーツについてはもちろんのこと、沖縄ならではの戦争の話なども含め、多数の著名な先生方にご講演いただく予定です。

また、展示会場は、例年通りに多数の展示企業の皆様に最新の義肢装具・関連部品などを展示いただき、「新しきを知る」場所となりますが、今大会企画として、いまや教科書でしか見られない昭和初期の貴重な義肢装具を展示いたします。経験豊富なPOの皆様には懐かしさを、若いPOの方々には歴史を感じていただく「故(ふる)きを温(たず)ねる」コーナーを設けます。この大会がもう一度日本の義肢装具を見つめなおす、原点回帰の機会になればと願っております。盛大な記念大会となるよう、皆さまのご参加をお待ちしております。

## 2. プログラム内容(一部)

- ・20周年記念講演:「日本義肢装具士協会20年を振り返り、また、これからの課題」
- ・特別講演1:沖縄戦体験について      ・特別講演2:四肢変形と装具療法—上肢を中心に
- ・教育講演1:オットーボックの最先端技術開発 ～ジニウム開発の経験から～
- ・教育講演2:アウトカムにフォーカスされた義肢ソリューション:「歴史」対「最先端」
- ・教育講演3:糖尿病性足病変に対する義肢装具士への期待(一般公開)
- ・招待講演1:ロボット義肢と適正義肢
- ・招待講演2:リハ医が求める義肢装具士 ～女性義肢装具士に求めるもの～

## 3. 参加予定人数 約1,000名      4. 第20回日本義肢装具士協会学術大会HP

<http://www.okinawa-congre.co.jp/japo20/>

## 5. 参加費 5,000円(1日)※両日参加ご希望の際は、2日分の参加費をお支払いください。

## 6. 参加登録方法・締切り、問合せ先      非会員の医療系有資格者は、下記HPよりご登録ください。

<http://www.okinawa-congre.co.jp/japo20/contents/participant.html>

# 広報部便り

## ホームページリニューアル

5月1日にホームページがリニューアルされました。情報やファイルのアップに時間が掛かり、今しばらくご不便をおかけしますがご理解をよろしく願います。

## 研修会案内の掲載について

本誌へ研修会案内を掲載したい場合は、依頼についての文書(例:研修会案内の掲載についてのお願い)を当協会事務局まで郵送していただきますようお願いいたします。掲載の可否については当会の事業目的に照らし、判断いたします。尚、毎月10日までに文書確認できれば翌月号へ掲載となります。

★掲載内容は概ね300字を目安としています。これまで掲載されていた研修も文書の発行をお願い致します。

## 【研修案内に関する問い合わせ】沖縄県理学療法士会事務所

098-930-5023(月～金曜日9:00～18:00 担当:瀬底) [optaoffice@yahoo.co.jp](mailto:optaoffice@yahoo.co.jp)

## 理学療法士募集

募集人員：1名

勤務場所：北城整形外科ディケア室並びに

北城整形外科リハビリ室

勤務時間：午前9時～午後6時

待遇：正社員、週休2日制

社会保障完備、夏季・冬季ボーナス有

面接：電話連絡の上、履歴書持参

ベースボールクリニック  
**北城整形外科**

〒904-0034 沖縄市山内2丁目25番41号